

# (1) 人と人とのつながりを実感できる地域共生社会の実現

## 現状と課題

- ・ 少子高齢化や核家族化の進行等に伴い、人間関係が希薄化し、コミュニティ機能が低下しています。そうした中、一人暮らし高齢者や子育て家庭、ひきこもり<sup>※)</sup>等、支援を要する方が増加するとともに、いわゆるダブルケア<sup>※)</sup>や8050問題<sup>※)</sup>などの複合的な課題も生じています。
- ・ 地域の課題解決に向けては、制度や分野ごとの縦割りや、支え手・受け手という関係を越えて、住民や多様な主体が参画し、だれもがともに支え合う地域共生社会<sup>※)</sup>の実現が求められています。
- ・ そのため、様々な課題に包括的に対応できる相談支援体制の整備や、地域の福祉ニーズに対応する人材の確保・育成が必要です。
- ・ 年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、すべての人が住み慣れた地域で個人として尊重され、安心して生活できるよう、県民や事業者のユニバーサルデザイン<sup>※)</sup>への理解・実践を推進するとともに、県民同士の支え合い活動の充実や公的サービスのさらなる整備が求められています。



住民参加型福祉サービスの発足式



関係機関が協働する「津久見市まるごと会議」

## これからの基本方向

- ・ 市町村や社会福祉協議会との協働により、県民や福祉関係団体、民間企業等の福祉活動の推進や地域での連携を図ります。
- ・ 身近な圏域で住民が主体的に課題解決を試みる仕組みや包括的に相談を受け止める体制づくり、市町村単位での分野を超えた複数の関係機関が協働する包括的な相談支援体制の構築に取り組みます。
- ・ 地域福祉を推進するための核となる人材を確保・育成します。
- ・ 県民の共生意識を醸成しユニバーサルデザインを推進するとともに、生活困窮者や判断能力が不十分な方への支援を充実します。
- ・ 高齢者支援、子育て支援などのサービスを個別に充実させるだけでなく、地域の実情に応じて対象を多世代に拡大し交流を活性化させるとともに、住民相互の支え合い活動を推進します。

## 主な取り組み

### ① 地域共生社会の実現に向けた体制づくり

- ・ 福祉関係団体や民間企業等による見守りや相談支援など地域福祉活動の推進
- ・ 社会福祉協議会の相談支援やコーディネート機能の強化
- ・ 身近な圏域で住民の相談を包括的に受け止める体制づくりの促進
- ・ 複合的な課題等について、市町村圏域で関係機関が協働して包括的に受け止める相談支援体制づくりの促進
- ・ ひきこもり地域支援センターの相談・支援機能のさらなる充実及び市町村や関係機関等の連携による支援や地域の支援ネットワークの強化

### ② 地域共生社会を支える人づくり

- ・ 地域福祉の要となる民生委員・児童委員の活動を円滑に進めるためのマニュアルの配布や研修の充実
- ・ 社会福祉事業に従事する職員を確保するため、就職の斡旋や職場体験等を行うとともに、資質向上のための研修等を実施
- ・ 地域住民の支え合い活動等の促進や相談支援機関相互の連携を図る人材の育成
- ・ 福祉ボランティア活動を希望する人が円滑に参画できるための研修等の実施
- ・ ひきこもり等を誤解や偏見なく理解し、相談窓口に誘導できる人材の育成

**見直し委員から一言**  
地域共生社会の実現には、それを支える人材の育成が重要です。



### ③ 多様な地域資源<sup>※)</sup>による福祉基盤づくり

- ・ 建築物や公共施設などのハード面と、思いやりの心を醸成するソフト面の両面におけるユニバーサルデザインの推進
- ・ 地域子育て支援拠点<sup>※)</sup>や子ども食堂<sup>※)</sup>、高齢者サロン<sup>※)</sup>などにおける多世代交流活動の推進
- ・ 生活のちょっとした困りごとを住民相互で支え合う住民参加型福祉サービス<sup>※)</sup>等の推進
- ・ 様々な理由で社会とのつながりに困難を抱える当事者・家族が利用できる「居場所」の充実
- ・ 生活に困窮する人が自立できるよう、就労支援や生活習慣の改善など関係機関等の連携による包括的な支援体制の充実
- ・ 認知症高齢者等判断能力が不十分な方に対する市民後見人の養成などによる権利擁護の推進



子どもから高齢者まで多世代にわたる交流



寄り合い温泉(出会の湯)での活動

## 目標指標

指標名	年度	基準値	H30年度		R6年度
			目標値	実績値	目標値
高齢者、子育て家庭等、多世代交流・支え合い活動の実施主体数(組織)	30	291	-	291	452

## (2) 未来を担う NPO (NPO 法人・ボランティア団体・地域コミュニティ団体等) の育成と協働の推進

### 現状と課題

- 人口減少社会の進行や県民ニーズ、価値観の多様化、地域コミュニティ機能の低下などにより、地域の課題が多岐にわたっていることから、課題解決に向けて自発的な取り組みを行っている NPO<sup>※)</sup>・ボランティアの活躍が期待されます。
- 県内各地域において、NPO、社会福祉協議会、企業、行政などが協働・連携し、地域課題解決に向けて取り組んでおり、今後も多様な主体が地域社会の課題を共有し、それぞれの強みや特性を生かして協働することが重要です。
- 本県の NPO 法人数は 479 法人(平成 31 年 3 月末現在)ですが、事業規模が 100 万円未満の法人が約 3 割を占めており、資金不足や人材不足などにより、安定した活動が困難となっている法人も多くあります。そのため、NPO やボランティアの自立的活動基盤の強化を図る必要があります。
- 災害ボランティアセンター<sup>※)</sup> は、社会福祉協議会が中心となり、市町村や商工団体、自治会、NPO 等の支援を受けて設置・運営されますが、迅速かつきめ細かな支援活動を行うためには、平時からの地域における各種団体との連携・協力が重要です。



おおいた共創基金との連携によるNPOの活動支援(中学生のキャリア教育)



NPOと企業等との交流を促進する「おおいたNPO・県民フォーラム」

### これからの基本方向

- NPO 活動や協働事例などの情報提供を充実することにより、県民の理解を深め、参加と協力を促進します。
- NPO、企業、行政などをつなぎ、お互いの連携が図れるような環境づくりに取り組みます。
- NPO 活動を活性化し、持続発展させるため、人材の育成や活動資金の確保、事業実施能力向上のための支援を充実します。
- 休眠預金を活用した新しい制度などの資金調達や運営に関する必要な情報を提供し、NPO が持続的に活動できる環境を整備します。
- 各市町村の災害ボランティアネットワーク協議会<sup>※)</sup> を活用し、南海トラフ巨大地震など、災害時における被災者支援に取り組む NPO・ボランティアの活動を促進します。

### 主な取り組み

#### ① NPO・ボランティアの育成・活動支援

- おおいたボランティア・NPO センターによる研修・講座の充実、NPO の活動支援(中間支援)を担える人材の育成や広報の強化
- NPO への専門家の派遣や協働コーディネーター<sup>※)</sup> 等によるきめ細かな支援
- 認定・特例認定、指定 NPO 法人制度の普及啓発
- おおいた共創基金や企業等との連携によるふるさと創生を促す活動等への支援
- NPO の多様な収入源の情報や休眠預金を活用した新しい制度など団体の活動に応じた資金調達の方法について必要な情報を提供・支援

**見直し委員から一言**  
NPO と行政をつなぐ協働コーディネーターのような中間支援を担う人材の育成が必要です。



#### ② 協働に向けた支え合いの仕組みづくり

- 協働して解決に向け取り組む地域課題を、NPO と県の双方から提示するなどにより、多様な主体との協働モデルを創出
- NPO と企業の相互理解を深めるための交流の促進
- 行政の協働推進のための組織・機能の充実・強化と研修の拡充

#### ③ NPO 活動と協働の県民理解・参加の促進

- おおいた NPO 情報バンク「おんぼ」を活用し、NPO 活動や協働事例を公開
- 協働モデルを紹介する事例集の作成
- 多くの人が集まる機会を捉え、協働事例の発表や協働実践講座の開催
- 多様な NPO をつなぐ交流機会の設定



NPOと行政等との協働による「舞台パフォーマンス」

#### ④ 災害ボランティアセンターを設置・運営する人材の育成

- 社会福祉協議会との連携による災害ボランティアセンターの運営リーダー・スタッフの育成及び活動支援
- 平時から顔の見える関係を構築するため、市町村ごとの災害ボランティアネットワークの拡大及び強化



平成29年九州北部豪雨における災害ボランティアの活動

### 目標指標

指標名	年度	基準値	H30年度		R6年度
			目標値	実績値	目標値
県・市町村との協働件数(件)	26	942	1,042	1,253	1,311

# (3) ネットワーク・コミュニティの構築

## 現状と課題

- 県内の集落の1/3が小規模集落となっており、住み慣れた地域に住み続けるために必要な、買い物や見守りなどの課題を抱える集落の増加が懸念されています。
- 地域を支える主体は地域コミュニティ組織や社会福祉協議会、住民有償サービスなど様々な形態があり、集落の約90%はカバーされていますが、単独の集落で取り組むことが難しい場合も多く、複数の集落で支え合うネットワーク・コミュニティ<sup>※</sup>での取り組みが重要になります。
- 所有者の管理が不十分で放置された空き家等は、今後も増加が懸念され、倒壊や火災の危険性、環境や景観に与える影響など、様々な課題を抱えています。
- 公共交通の利用者の減少が続き、過疎地域等におけるバス路線の廃止や減便、離島航路や鉄道の減便など公共交通サービスの低下が進みつつあります。
- 生活水の確保が難しい地域や、生活排水処理ができていない地域もあります。
- 中山間地域等の集落では災害時の孤立などの課題があり、その解消が急務となっています。



移動販売サービスによる買物支援



地域の賑わいの場(コミュニティカフェ)

## これからの基本方向

- 住み慣れた地域に住み続けたいという住民の思いを叶えるため、各集落の課題を把握し、課題に応じた支援を行うとともに、小規模集落になる前の早い段階で活動に取り組めるように支援します。
- 地域の課題解決には、地域が自ら考え、計画的に取り組むことが重要なため、地域住民や市町村と連携して自立・持続型ネットワーク・コミュニティを構築します。
- 移住効果も期待できる関係人口<sup>※</sup>の創出に取り組みます。
- 公共交通を維持するため、バス乗務員の確保、運行便数や経路の適正化、地域の様々な団体との協働による移動手段の確保等、地域の実情に応じた取り組みを進めます。
- 中山間地域等では、地域と地域を結ぶネットワーク・コミュニティの形成を支える道づくりを推進します。

## 主な取り組み

### ① 小規模集落対策の推進

- 生活の困りごとを手助けする住民参加型福祉サービス<sup>※</sup>や民間事業者等との協働による地域の見守り活動の推進
- 交流サロン<sup>※</sup>など地域の賑わいの場や居場所づくり、移動販売などの買い物に対する支援
- 小規模集落応援隊<sup>※</sup>の参加団体の増加と、さらなる活用
- 地域おこし協力隊<sup>※</sup>や集落支援員<sup>※</sup>制度など新たな視点を活用した課題解決への取り組み
- 市町村で解決が難しい課題について、集落維持に関する庁内連携体制による集落に入り込んだ支援
- 空き家の適正管理や相続の問題など、ワンストップ相談体制の充実や地域活動などでの利活用の促進
- 生活水の確保や水道事業の基盤強化に取り組む市町村の支援
- 合併処理浄化槽<sup>※</sup>への転換を促進するための支援
- 過疎・離島・半島・振興山村地域などの対策推進



小規模集落応援隊による海岸清掃

### ② 生活交通の確保・維持

- 市町村等と協働で行う地域公共交通網形成計画等の策定によるバス路線の確保・維持
- 大型二種免許取得や就労環境の改善等に対する支援などバス乗務員の確保
- 次世代モビリティサービス<sup>※</sup>等の先端技術を活用した新たな交通手段確保の検討
- 離島航路事業者に対する助成と観光客など島民以外の航路利用の促進

**見直し委員から一言**  
ITを駆使して今までにないような交通のあり方を組み立てていく必要があります。

### ③ ネットワーク・コミュニティづくりの推進

- 市町村や社会福祉法人、NPO<sup>※</sup>など多様な担い手と連携し、地域を支える主体づくりを推進
- 活動拠点整備や担い手育成などの運営基盤づくりと、持続的な運営確保に向けた支援
- 近隣地域に居住する地域の出身者、地域に関わりのある地域外の人々、近隣の企業の職員やその家族、NPO等の団体など、関係人口の創出
- 地域おこし協力隊の活用の拡大やふるさとワーキングホリデー<sup>※</sup>の活用による大学生など若者の受け入れ
- デマンドタクシー<sup>※</sup>の活用による地域内や交通結節点までの移動手段の確保
- スクールバス等の活用や、地域の多様な担い手との協働による通院や買い物など地域住民の移動手段の確保
- 地域課題解決に向けたドローン<sup>※</sup>やIoT<sup>※</sup>など先端技術の活用
- 先進事例等の情報共有やコミュニティ組織間の連携の推進など、中間支援組織<sup>※</sup>による支援

### ④ ネットワーク・コミュニティの形成を支える道づくりの推進

- 地域と地域の連携・交流を支える道路整備の推進
- 集落の孤立を防ぐ道路防災対策の推進
- 路肩幅や離合所設置などきめ細かな対応による生活道路の改善

## 目標指標

指標名	年度	基準値	H30年度		R6年度
			目標値	実績値	目標値
ネットワーク・コミュニティ構成集落数(集落・累計) [県内集落数(4,250)に対する割合]	26	-	1,200	1,498 [35.2%]	2,125 [50%]